



東京芸術祭ファーム Young Farmers Forum 参加者募集

[応募締切 2021年6月26日(土)23:59 JST]

20代までのアーティストたち、最前線を体感せよ！

東京芸術祭ファームのプログラムのひとつ「Young Farmers Forum」*は、日本を拠点に活動する20代までの舞台芸術の人材が、国際協働について知見を深めるためのプログラムです。東京芸術祭ファームの国際的なプログラムに帯同し、現場の見学や補助、レクチャー受講、海外アーティストとの交流等を通じて、新たなビジョンの獲得や国際的な活動へのステップをつくることを目指します。

日本を拠点に活動する演出家、振付家、劇作家、ドラマトウルク等、舞台芸術の企画において重要な役割を果たす作り手を対象に参加者を公募します。（実施言語：日本語／参加無料）

*「東京芸術祭 APAF Young Farmers Camp」は2021年度より「東京芸術祭ファーム Young Farmers Forum」に名称を変更しました。

▶こんな方にオススメ

- ・国際的なフィールドへの第一歩を踏み出したい方
- ・国際的なクリエイションの現場を経験したい方
- ・アジアをフィールドに活動するアーティストと出会いたい方
- ・新たな経験や発見を通して、自身の今後のビジョンを考えたい方

※Young Farmers Forumの実施期間を通しての参加が難しい方は、一部プログラムをスポットで見学・傍聴できる「ビジター」制度がございます（詳細はp.4）。

▶オンライン説明会実施

6月10日(木) 20:30～

- ・東京芸術祭YouTubeチャンネルにてライブ配信
- ・詳細は東京芸術祭Webサイト (<https://tokyo-festival.jp/2020/program/farm2021/>)にてご確認ください

| 東京芸術祭 Webサイト <https://tokyo-festival.jp>

主催：東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、
公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）〕

助成：令和3年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業



Young Farmers Forum 実施概要

■ 活動内容

- 以下の東京芸術祭ファームのプログラムの現場に帯同して活動 **※各プログラムの実施概要は【別紙】を参照**

プログラム	活動内容
Farm-Lab Exhibition	国際コラボレーション作品の創作現場の補助 (稽古場やミーティング等は日英通訳あり)
Asian Performing Arts Camp	アジアで活動するアーティストが参加するアートキャンプの見学、 レクチャーの傍聴 (基本的に英語で実施。レクチャーの傍聴等、一部、日英通訳あり)

- レクチャーを受講（国際的なフィールドでのキャリアビジョン、国際的な場でのコミュニケーションについて等を予定）
- 東京芸術祭ファームのプログラム参加者との交流（Slack等でのやり取り、交流会に参加 等）
- 東京芸術祭2021のプログラムを観賞（一部チケット代補助あり）
- レポートの提出（活動日毎に提出）
- 活動期間の終了後に最終レポートを提出（東京芸術祭Webサイトにて一般公開予定）

※活動期間中は、フィードバックセッション、東京芸術祭ファームディレクターとの面談等を実施し、定期的な振り返りの場を設けます。

※以上の活動は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して実施します。

■ 実施言語

日本語（各プログラムの現場や交流会等でのコミュニケーションでは、英語を用いる場面もあります）

■ 実施日程

- オリエンテーション：7月21日(水) 14:00～17:00
- 活動日：**2021年7月22日(木・祝)～11月1日(月)で各参加者と調整**

7月22日(木・祝)～9月30日(木)	週1日程度 活動 ※オンラインでの活動を予定。
10月1日(金)～10月25日(月)	週2日以上 活動 ※Farm-Lab Exhibitionの稽古場（水天宮ピット）での活動がメイン。
10月26日(火)～11月1日(月)	原則として全日活動 ※10月26日(火)～31日(日)：一般公開プログラムのリハーサル、実施期間。東京芸術劇場（東京都豊島区）で活動。 ※11月1日(月)：各プログラムのラップアップに参加予定（活動場所 未定）。

- 最終レポート提出締切：11月7日(日)
- 最終フィードバックセッション：11月中旬

※活動日以外も、随時、Slack、Facebook等で情報交換を実施します。

※上記以外で参加が必要なスケジュールについて、案内をお送りする場合があります。

※上記は2021年6月1日現在の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等ふまえ、内容は変更となる可能性があります。

■ 活動場所

- オンライン（使用ツール：Zoom 等）
- 水天宮ピット（東京メトロ半蔵門線「水天宮前駅」より徒歩2分）
- 東京芸術劇場 アトリエイースト、アトリエウエスト（「池袋駅」西口より徒歩2分）

※活動内容によって、上記以外の場所で実施する場合があります。

※居住地等の都合でオンラインでの活動のみを希望する場合は、応募時に連絡事項として記入してください。

東京芸術祭ファームは、さまざまな人が創造的な力を安心して発揮できるよう、「東京芸術祭ファーム ガイドライン」（<https://tokyo-festival.jp/2020/program/farm2021/>）に則って運営されます。全ての参加者はこのガイドラインのもと、活動に参加していただきます。

募集概要

■ 応募資格

次の1～7のすべてにあてはまる方

1. 日本を拠点に活動しており、今後、国際的に活動していきたい
2. 舞台芸術作品やプロジェクトにおいて創作上重要な役割を果たしている（演出家、俳優、振付家、ダンサー、ドラマトゥルク等）
3. 原則18歳から29歳まで（高校生不可）
※未成年の方は保護者の同意が必要
4. 東京芸術祭が行う、自身の参加プログラムの広報およびPRに協力することができる
5. 2021年7月26日(月)～9月30日(木)で週1日以上、10月1日(金)～11月1日(月)で週2日以上が活動が可能
※応相談
6. オンラインでの活動に必要な環境を整えられる
 - セキュリティに問題がないインターネット接続環境
 - グループビデオ通話、動画閲覧、大容量ファイルのダウンロード等に十分に対応できるインターネット接続環境
 - Zoomのグループビデオ通話*、Slack、Google Drive が利用できる端末（使用ツールは参加者の状況やプログラム内容に応じて追加、変更となる可能性あり）
*Zoomの使用に必要なシステム要件：<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>
 - スマートフォンのみでの参加は非推奨
7. 積極的に他の参加者等とコミュニケーションをとり、主体的に参加する意思がある

■ 参加費

無料

■ サポート

- 国際的な現場でのコミュニケーションのサポート：日英通訳（Farm-Lab Exhibitionの創作現場でのやり取り、Asian Performing Arts Camp のレクチャーの傍聴等、一部の活動が対象）、コミュニケーションデザインチームによる多文化間コミュニケーションについてのレクチャー
- 交通費支給（1日あたり上限1,000円）
- 保険加入（費用は主催者が負担）

■ 募集人数

6名程度

■ 選考スケジュール

応募受付	応募締切：2021年6月26日(土) 23:59 オンラインのフォームにて受付
選考	書類審査を実施
参加者決定	結果発表：2021年7月19日(月)までにメールにて可否を通知

※可否に関わらず、選考の結果は応募者全員にメールで通知します。必ずメールでの連絡が受け取れるようパソコンや携帯電話の設定をご確認ください。

※以下の東京芸術祭ファームのプログラムの募集に応募する方は、下記の手順で応募してください。

- ・ 該当プログラム：Farm-Lab Exhibition（参加者(出演者)・演出助手）、Asian Performing Arts Camp
- ・ 応募方法：上記プログラムへの応募時に、応募フォームの「**「Young Farmers Forum」参加者募集への応募を希望するか（日本国内在住の29歳以下のみ対象）**」の項目にて「**希望する**」と回答してください。（その際の応募内容をもとに、Young Farmers Forumの参加者募集の選考を行います。Young Farmers Forumの応募フォームからの応募は不要となります）。

■ 応募方法

以下、応募フォームより必要事項を入力の上、送信してください。

| 応募フォーム <https://form.run/@yff2021>

<必要事項>

1. 氏名もしくはアーティスト名
ー 自分に対して使用してほしい代名詞 (he, she, they 等 / 自由記述)
2. 活動拠点 (都市名 / 複数ある方は全て)
3. 生年月日
4. メールアドレス
5. 連絡先住所
6. 日中連絡のつく電話番号
7. 職業 (所属 等)
8. アーティストプロフィール (400字以内)
9. ウェブサイト (あれば)
10. これまで関わった作品の動画リンク (YouTube、Vimeo等 / あれば)
ー その作品における自身の役割
※必要に応じて閲覧制限を設定してください。
11. 応募動機 (400字以内)
12. これまでの国際的な経験 (創作や公演、留学、海外旅行 等 / あれば)
13. 自身の英語でのコミュニケーション力 (選択式)
 - a. 簡単な自己紹介ができる
 - b. ある程度準備しておけば、自身の活動を説明することができる
 - c. 自身の専門分野において、議論のなかで考えや意見を述べることができるー 上記の回答に関する補足 (自由記述 / あれば)
14. オンラインミーティング等に使用する機材 (選択式 / 複数選択可)
※オンラインでの活動に必要な環境は「応募資格」(p. 3)を確認してください。
15. 参加に際して使用するネットワーク環境
16. 実施日程 (p. 2) の内、参加ができない日程や活動ができない期間 (あれば)
17. 他の東京芸術祭ファームのプログラムで応募を予定しているもの (選択式 / あれば)
※同時募集している東京芸術祭ファームの他プログラムへの併願は可能です。なお、他プログラムの参加者募集に応募する場合は、「Young Farmers Forum」参加者募集への応募手続きは不要です (p. 3参照)。
18. 応募にあたっての連絡事項など

■ 留意事項

お預かりした個人情報は厳重に保管し、本企画に関する諸連絡以外に使用することはありません。

【予告】東京芸術祭ファーム「ビジター」登録について

東京芸術祭ファームでは、一部プログラムをスポットで見学・傍聴できる「ビジター」制度を導入予定です。長期間のプログラムへ参加することが難しい場合等は、こちらへの参加もぜひご検討ください。

- 内容：東京芸術祭ファームのプログラムの一部を「ビジター」登録者に向けて公開。登録者は1回からスポットで参加（見学・傍聴）が可能
- 登録資格：日本を拠点に活動する20代までのアーティスト等
- 登録受付期間：2021年6月中旬～7月中旬 ※予定

※詳細は確定次第、東京芸術祭Webサイト (<https://tokyo-festival.jp>) にてお知らせします。

※上記の内容は予定です。今後、変更となる場合があります。

[お問い合わせ] APAF制作オフィス MAIL : apaf@tokyo-festival.jp TEL : 03-4213-4293 (平日10時～19時)

※記載の情報は2021(令和3)年6月1日現在のものです。内容等は変更になる場合がございます。

【別紙】

「Farm-Lab Exhibition」 「Asian Performing Arts Camp」 について

Young Farmers Forumの活動期間は、下記、東京芸術祭ファームのプログラムの現場で活動していただきます。各プログラムの募集要項もあわせてご参照ください。(https://tokyo-festival.jp/2020/program/farm2021/)

● Farm-Lab Exhibition 実施期間：2021年7月下旬～11月1日(月)

アジアを拠点に活動する若手アーティストが集い、舞台芸術作品の創作トライアルを行います。ネス・ロケ（APAF2020 Lab 参加者）と敷地 理（APAF2018 アートキャンプ参加者、APAF2019 Exhibition 美術）がディレクションチームとして共同で演出を担当、出演者は公募により決定し、参加者全員で協働しながらクリエーションを進めていきます。また、アドバイザーとして劇作家・演出家の松田正隆がディレクションチームの創作をサポートします。

7月下旬よりオンラインにてクリエーションを開始、10月からは東京に集まり1ヶ月間の滞在制作を行います。10月最終週には成果発表として、東京芸術劇場アトリエイースト・アトリエウエストにて、ワークインプログレスを一般公開し、観客からフィードバックを受けながら作品をブラッシュアップしていきます。

	場所	日程
顔合わせ	オンライン (使用ツール：Zoom)	7月下旬
オンライン稽古		9月中旬～：週1～2回、各回2時間程度
滞在制作	水天宮ピット（東京）	10月1日(金)～25日(月)：週5～6日、各日13:00～18:00
成果発表（一般公開）	東京芸術劇場アトリエイースト、アトリエウエスト	10月26日(火)～31日(日) ※上記期間内で、リハーサル、上演（3回以上）を実施
ラップアップ / 修了式	未定	11月1日(月)

● Asian Performing Arts Camp 実施期間：2021年8月25日(水)～11月1日(月) 全日程オンライン

約2ヶ月にわたり定期的にオンラインセッションを重ね、参加者それぞれの活動テーマや関心領域を出発点に、レクチャーやディスカッション、協働して行うリサーチを通して共に思考を深めるプログラムです。活動の最後には、参加者全員が期間中に取り組んだリサーチを一般公開のプレゼンテーション（オンライン）にて発表します。期間中はファシリテーター2名（JK アニコチェ（昨年度に引き続き担当）、山口恵子（APAF2020 Lab 参加者））が参加者に伴走し、国や文化を超えた協働の可能性を共に探求していきます。

前半活動	8月25日(水)、8月31日(火)、9月7日(火)、9月15日(水)、9月22日(水)
中間プレゼンテーション	リハーサル：9月28日(火) 本番：9月29日(水)
後半活動	10月6日(水)、 10月12日(火) 、 10月13日(水) 、 10月14日(木) 、 10月18日(月)、10月21日(木)、10月25日(月) ※ 10月12日(火)、10月13日(水)、10月14日(木) はコア期間として、各日3時間以上の実施を予定。
最終公開プレゼンテーション / フィードバックセッション	10月26日(火)～31日(日) ※上記の期間内で、4～5日程度活動を実施（リハーサル、最終公開プレゼンテーション、フィードバックセッション）。
ラップアップ / 修了式	11月1日(月)

※活動時間は各日3～4時間程度（プレゼンテーション実施日やコア期間等、左記に該当しない場合もあります）

APAF から東京芸術祭ファームへ

このたび、東京芸術祭の人材育成プログラムとしてアジア次世代の作り手たちの協働と実験の場として人材や作品、国籍や文化を超えたネットワークを生み出してきた“APAF (Asian Performing Arts Farm)”は、これまで東京芸術祭及びフェスティバル/トーキョーが取り組んできた研究開発・教育普及プログラムを組み込んで、より裾野を広げ高みを目指す“東京芸術祭ファーム (Tokyo Festival Farm)”へとバージョンアップします。

ディレクター体制も APAF から引き続きディレクターとして多田淳之介、新たに共同ディレクターとして長島確を加えた2名体制へ、さらに APAF2020 から導入したコミュニケーションデザイン制度を基にガイドラインを策定し、異なる他者へのリスペクトを前提としたコミュニケーションの徹底、個々がクリエイティビティを発揮できる環境作りとハラスメント防止にも積極的に取り組んでまいります。

これまでも舞台芸術は異なる他者と協働し、様々なボーダーを超えてきました。グローバル化が進み、通信手段や移手段の発達によって異なる他者がより身近になった現在は、国籍や民族、言語などの枠組みが融解しはじめ多様な個がフィールドを行き交う“トランスカルチャー／トランスフィールド”環境が進んでいます。「国際的」という言葉の意味も「普段は混ざってない異文化が混ざること」「国外でも流通すること」から、「日常的に異なるものが混ざり合い複雑化したこの世界の価値観を提示すること」へと変わっていくでしょう。そして舞台芸術の役割もこの世界を映す鏡として変化していくのを感じています。

東京芸術祭ファームの「国際的」な次世代育成の場としてのミッションは、ボーダーの融解するトランスフィールド／トランスカルチャー環境を体感し、様々な価値観と出会いながらこの複雑化した世界を捉える力を育み、国や文化を超えて様々なフィールドをトランスし活躍する人材の輩出、そのための持続可能な環境作りです。

それが世界中で多様化と同時に生まれている「分断」に対抗していくものになると信じています。

2021年、未来に向けバージョンアップした舞台芸術のファームを、どうぞよろしく願いいたします。

東京芸術祭ファーム 2021 テーマ「都市の価値／Why Cities?」

昨年の APAF2020 は“Anti-body Experiment”というテーマのもと、オンラインの可能性とリアルな身体を捉え直し「集まらないこと」への抗体を作る実験でした。今年の東京芸術祭ファーム 2021 では COVID-19 の感染（拡大／収束）状況の違いが残る世界を背景に“都市の価値／Why Cities?”というテーマを掲げます。これは国や地域ごとに固有のキャラクターを持ちながらも、経済や効率、消費と生産、そして感染症拡大リスクという共通の 이슈を持つ「都市」をめぐる、これからの生き方についての問いかけです。何が違って、何が変わらないのか。私にとって。私たちにとって。あなたにとって。あなたたちにとって。様々なサイズや距離によっても揺らいでいく「価値」は誰のものなのか。プログラム参加者も観客も、ファームを訪れる異なる者たちで共に考えるためのトリガーです。

2021年6月

東京芸術祭ファームディレクター 多田淳之介



東京芸術祭ファームとは

東京芸術祭ファームは、舞台芸術の祭典・東京芸術祭の人材育成機能を集約した新しい枠組みです。アジアでの若いアーティストの交流と成長のプラットフォームである Asian Performing Arts Farm (APAF: エーパフ) にフェスティバル/トーキョー (F/T) の研究開発・教育普及プログラムが加わって誕生しました。出会いと学びの場「スクール」、現場研修の機会「インターンシップ」、研究開発に挑む「ラボ」の3つのカテゴリーがあります。参加者公募を中心とする多様なプログラムのなかで、他者と協働しながら地域や分野を超えた“トランスフィールド”を開拓し、今後ますます流動的になるさまざまなボーダーを自由に行き来して活躍する人材の育成を目指します。

ラインアップ詳細はこちら <https://tokyo-festival.jp/2020/program/farm2021/>